

廃材の活用 斬新な発想で



導線のアップサイクル方法を提案する生徒ら＝豊田市保見町の豊田大谷高で

豊田大谷高生 企業担当者らに発表
高校生が企業や学校で出「クト」の成果発表が20日、た廃材の活用方法を考える「アップサイクルプロジェクト」の発表会が、豊田市保見町の豊田大谷高校であった。クラスの代表

者の発表に、3年生234人と廃材を提供した中小企業の担当者らが耳を傾けた。生徒らは昨年11月から授業の一環でアップサイクルについて学び、地元企業と学校から提供された樹脂やポリ塩化ビニルの11種類の廃材の活用方法を考へてきた。発表では、自動車部品製造の過程で出る樹脂端材を使った割れにくい皿や、導線をデザインの一部に取り込んだランプ、使用期限を過ぎた学校の消防ホースを座面にした椅子など、斬新な発想で廃材の可能性を示した。

天野蒼昇さん(17)と合田悠輝さん(17)は「意外といろんなものに加工できると知った。ただ捨てるだけだと思っていたけど、再利用

イキイキ輝く事業所に輝いた企業の関係者たち＝豊田市喜多町の名鉄トヨタホテルで(豊田市提供)



「人が輝く職場」 15事業所を表彰

豊田市

豊田市の「はたらく人がイキイキ輝く事業所」の表彰式が19日、同市喜多町の名鉄トヨタホテルであった。最優秀の「イキイキ大賞」には、自動車部品製造のアラコ(吉原町)と総合建設業の大啓建設(東梅坪町)、まちづくり事業の豊田まちづくり会社(若宮町)、自動車部品製造の豊和化成(西中山町)の4事業所が選ばれた。働きがいのある職場づくりを積極的に進める市内の事業所を表彰するもので、今回が13回目。本年度は23事業所から応募があった。

大賞のほか「イキイキ優秀賞」に6事業所、特定分野で優れた取り組みをした「ベストフォーカス賞」には5事業所が選ばれた。

で活用されればと話した。地域が抱える環境課題に関心を持ってもらおうと、同市脱炭素スクール事務局と地元企業6社、同校が連携して実施した。近藤工業(同市高丘新町)の相羽宏

泰さん(65)は「現状やコスト、メリットなど分析ができていた。私たちもより真剣に再利用に向けて動かなくてはという意識を持った」と振り返った。(堀百花)

「黒煙が上がっている」などと付近住民から119番が相次いだ。近くの男性(56)によると、「すごい

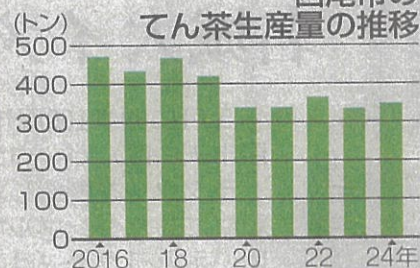
西尾市や茶」。高いの高齢化を山園(安城)になった地「西尾の茶」
安城

三河
BIZ



「預かり茶園」を紹介する富田取締役

西尾市のてん茶生産量の推移



「自社で茶園を管理することで市場のニーズに沿った栽培が可能になる」と富田さんは利点を説明。海外で人気な等級の高い抹茶を安定供給するため、今後も地元の農家の要望に応じ、預かり茶園を増やしていく考えだ。「高齢化が進む中、地域の産業の持続に貢献したい」と力を込める。

みよしで火災発生 倉庫数棟焼き鎮圧

20日午後4時5分ごろ、みよし市三好町物由の園芸用品やペット用品などを保管する倉庫から出火。豊田署などによると、けが人の情報はない。倉庫数棟を焼き、尾三消防によると、午後7時44分、鎮圧した。

地域課題の東海学園大 あいおい東海学園大(みよし市)とあ

煙でパチパチ音とか、パーンが聞こえた」と

好キャンパスで、石川清学長

事件

岡崎署などは19日侵入と窃盗の疑い、北海道、無職者(63)を逮捕し、逮捕容疑は6日午後4時半前8時10分ごろ市内のリフォー事務所に侵入し、便切手など11万2万5千円相当とされる。署によると、と容疑を否認し、階出入り口のド